

JFEシビル 埼玉の大型物流施設受注 制震ブレース適用、耐震性向上

JFEシビル(社長・藤井善英氏)は30日、埼玉県比企郡で大型物流施設「GLP川島」を世界有数の物流施設プロバイダー、グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(GLP)から受注し、起工式を行ったと発表した。GLPからの受注案件の着工は6件目を高める。

受注した施設は、鉄骨造4階建て延床面積は約5万平方メートル。1階床は2・5トフォークリフトの走行が可能で、2階床上部には将来の増床に対応できるようメザニンフロア(中二階)の増設を可能としている。工期は2017年4月までの14カ月となっている。

「ハーフ十字ブレースダンパー」はエネルギー吸収能力に優れた履歴型制震ダンパー。十字型軸力材と鋼板による溶接組み立てボックスの組み合わせで高い疲労性能を確保しているほか、設計軸力に対して最適断面を選択できる。